

2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 アールピバン株式会社
 コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 執行役員 (氏名) 野澤 克巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画室長 (氏名) 樋口 弘司
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5783-7171

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,691	14.5	1,293	19.5	1,275	9.3	686	27.4
2020年3月期第3四半期	6,654	7.4	1,607	26.4	1,406	70.3	946	37.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 755百万円 (24.8%) 2020年3月期第3四半期 1,005百万円 (31.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	64.88	
2020年3月期第3四半期	81.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	27,715	13,434	48.5	1,264.54
2020年3月期	28,090	12,946	46.1	1,230.11

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 13,434百万円 2020年3月期 12,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		15.00	30.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	14.5	1,400	29.8	1,400	22.1	600	48.1	56.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	12,963,816 株	2020年3月期	12,963,816 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,339,913 株	2020年3月期	2,439,512 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	10,583,339 株	2020年3月期3Q	11,592,753 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、5月25日の新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言解除による経済活動の再開により、全体として景気の持ち直しが見られるものの、今なお、世界的な感染拡大は続いており、今後、どのように収束していくかは不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループでは、2020年5月7日付「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響による売上高減少の可能性の発生に関するお知らせ」に記載のとおり、2020年4月、5月の2か月間、主力事業の版画の展示販売会の開催中止、ホットヨガ事業・フィットネス事業の店舗の休業を余儀なくされ、大きく売上（版画等販売事業は契約高）の減少となりました。

緊急事態宣言（休業要請）が解除された後は、感染防止対策を徹底した上で、営業を再開しております。

基幹の「アート関連事業」におきましては、従前と比較しましても、より多くのお客様に催事会場にお越しただいており、徐々に回復してきております。当社といたしましては、感染防止対策を徹底した上で、「絵のある豊かな生活（暮らし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう積極的な営業展開を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、日本全体に閉塞感漂う中、アートに込められた力により「癒し、希望、元気」といったメッセージを一人でも多くの方に広めてまいります。

「健康産業事業」におきましては、ホットヨガ事業・フィットネス事業とも、2020年4月、5月において休会会員が多く発生し、その後の会員数は弱めの推移となっております。今後も引き続き、感染防止対策を徹底した上で、休会会員の復会・退会防止・新規会員の獲得を行い、地域の皆様の「心と身体の健康」に寄与してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響により売上高5,691百万円（前年同四半期比14.5%減）、営業利益1,293百万円（同19.5%減）、経常利益1,275百万円（同9.3%減）となりました。また、ホットヨガ事業の店舗閉鎖による減損損失の計上、新型コロナウイルス感染症に関連する損失の計上等により親会社株主に帰属する四半期純利益は686百万円（同27.4%減）となりました。

事業の種類別セグメント業績は、次のとおりであります。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、2020年4月、5月において、主力の版画等の展示販売会の開催中止を余儀なくされ、大きく売上減少（前年同2か月に対して450百万円程度の契約高の減少。前期比約78%減）（注）の影響を受けましたが、緊急事態宣言（休業要請）が解除された後は、感染防止対策を徹底したうえで、営業を再開してまいりました。

この結果、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の解除後、徐々に営業が回復したことにより、売上高は3,709百万円（同10.8%減）となり、営業利益は626百万円（同29.5%減）となりました。なお、新型コロナウイルス感染症に関連する費用61百万円を特別損失へ計上しております。

（注）版画等の販売の売上計上基準は発送を基準としております。版画等の展示販売会においてご契約いただき、その後数カ月から1年にかけて、発送をすることにより売上高を計上しております。

◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、従来に引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入あっせん事業（以下、クレジット事業といいます）を中心に取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等により、当社及び一般加盟店の営業に影響がでたことにより、クレジット事業の新規の立替高は前年同四半期（9か月）に対して730百万円程度の減少（前期比約14%減）となっております。（注）

（注）割賦あっせん収益（売上高）は、クレジットの分割回数（最長60か月）にわたって計上されます。よって、新規立替高の減少の影響は、同期間の売上高の減少に影響いたします。

この結果、売上高は1,005百万円（同2.4%増）となり、営業利益は680百万円（同7.1%増）となりました。

◆健康産業事業

ホットヨガ事業・フィットネス事業におきましては、2020年4月、5月においては、店舗の休業を余儀なくされ、大きく売上減少の影響を受けましたが、緊急事態宣言（休業要請）が解除された後は、感染防止対策を徹底したうえで、営業を再開してまいりました。

この結果、会員数は依然厳しい状況が続いていることから、売上高は986百万円（同35.4%減）となり、営業損失は58百万円（前年同四半期は34百万円の営業利益）となりました。なお、新型コロナウイルス感染症に関連する費用150百万円を特別損失へ計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は23,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ267百万円減少いたしました。これは主にその他流動資産が717百万円、商品及び製品が376百万円増加したものの、借入金等の返済1,355百万円により現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は3,857百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円減少しました。これは主にリース資産（純額）が136百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は27,715百万円となり、前連結会計年度末に比べ375百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は12,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円減少いたしました。これは主に前受金が356百万円増加したものの、短期借入金が560百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ745百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が621百万円、リース債務が124百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は14,281百万円となり、前連結会計年度末に比べ863百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は13,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ488百万円増加いたしました。これは主に剰余金の配当317百万円により利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益686百万円があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は48.5%（前連結会計年度末は46.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において連結業績予想の範囲内で推移しており、2020年11月12日に公表しました通期の連結業績予想に変更はございません。連結業績予想の概要の説明は2020年11月12日に公表しました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

(新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響及び当該事象による今後の事業等のリスクについて)

2020年5月7日付「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響による売上高減少の可能性の発生に関するお知らせ」に記載のとおり、2020年4月、5月においては、主力の版画の展示販売会の開催中止、ホットヨガ事業・フィットネス事業の店舗の休業を余儀なくされ、大きく売上減少の影響を受けましたが、緊急事態宣言（休業要請）が解除された後は、感染防止対策を徹底したうえで、営業を再開しております。

当該事象による今後の事業等のリスクにつきましては、緊急事態宣言（休業要請）等により、催事（イベント等）の開催制限や施設の使用制限等が再度発生した場合には、版画の展示販売会の開催中止、ホットヨガ事業・フィットネス事業の店舗の休業の発生により、売上高が減少する可能性がございます。

本年2021年1月8日からの緊急事態宣言後の営業状況は、健康産業事業の会員数は厳しい状況は続いておりますが、当社グループの主力事業であるアート関連事業におきましては、大きな影響はでておりません。

今後の状況の変化によって、今期の連結業績予想に関して、開示すべき重要な事象等が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,546,211	3,774,781
売掛金	13,303,006	13,682,063
商品及び製品	4,599,282	4,975,774
仕掛品	6,713	5,058
原材料及び貯蔵品	44,225	59,488
前払費用	184,059	215,529
その他	531,582	1,248,954
貸倒引当金	△89,567	△103,437
流動資産合計	24,125,512	23,858,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,453,193	1,575,228
減価償却累計額	△737,539	△801,535
建物及び構築物 (純額)	715,654	773,693
土地	539,486	594,959
リース資産	597,984	482,891
減価償却累計額	△126,590	△148,282
リース資産 (純額)	471,393	334,608
建設仮勘定	13,030	—
その他	342,571	347,594
減価償却累計額	△244,525	△260,860
その他 (純額)	98,045	86,733
有形固定資産合計	1,837,610	1,789,995
無形固定資産		
その他	21,716	23,598
無形固定資産合計	21,716	23,598
投資その他の資産		
投資有価証券	381,181	507,244
長期貸付金	713,023	631,500
敷金及び保証金	343,121	321,132
繰延税金資産	216,223	196,745
退職給付に係る資産	10,748	11,586
その他	612,794	545,829
貸倒引当金	△171,114	△170,374
投資その他の資産合計	2,105,978	2,043,663
固定資産合計	3,965,305	3,857,257
資産合計	28,090,818	27,715,470

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	316,371	357,196
短期借入金	4,900,000	4,340,000
1年内償還予定の社債	55,000	55,000
1年内返済予定の長期借入金	1,041,434	895,115
リース債務	141,538	131,995
未払法人税等	212,688	221,472
前受金	1,731,912	2,088,191
割賦利益繰延	3,112,195	3,246,614
賞与引当金	48,782	25,130
返品調整引当金	9,492	11,892
店舗閉鎖損失引当金	2,478	5,546
その他	679,088	754,747
流動負債合計	12,250,983	12,132,902
固定負債		
社債	440,000	412,500
長期借入金	1,612,692	991,408
リース債務	394,997	270,759
繰延税金負債	7,887	7,887
退職給付に係る負債	122,905	132,642
資産除去債務	120,911	122,819
その他	194,426	210,237
固定負債合計	2,893,819	2,148,253
負債合計	15,144,802	14,281,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,680,835	1,705,635
資本剰余金	5,243,587	5,211,006
利益剰余金	7,482,994	7,852,461
自己株式	△1,405,448	△1,348,067
株主資本合計	13,001,968	13,421,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△60,693	5,579
退職給付に係る調整累計額	4,739	7,697
その他の包括利益累計額合計	△55,953	13,277
純資産合計	12,946,015	13,434,313
負債純資産合計	28,090,818	27,715,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	6,654,054	5,691,968
売上原価	2,312,446	1,846,746
売上総利益	4,341,608	3,845,222
販売費及び一般管理費	2,733,911	2,551,412
営業利益	1,607,696	1,293,809
営業外収益		
受取利息	12,221	8,174
受取配当金	2,376	2,480
保険解約返戻金	—	42,709
受取保険金	23,869	—
受取補償金	25,000	—
貸倒引当金戻入額	600	540
その他	9,453	9,020
営業外収益合計	73,520	62,924
営業外費用		
支払利息	42,274	50,493
社債利息	1,177	2,292
投資事業組合運用損	—	12,808
デリバティブ損失	165,278	—
為替差損	23,490	14,025
その他	42,307	1,390
営業外費用合計	274,528	81,011
経常利益	1,406,689	1,275,722
特別利益		
投資有価証券売却益	28,041	100,031
助成金収入	—	64,204
特別利益合計	28,041	164,235
特別損失		
店舗閉鎖損失	3,474	23,561
減損損失	35,497	113,051
固定資産除却損	643	—
臨時休業等による損失	—	211,703
投資有価証券評価損	—	554
特別損失合計	39,615	348,871
税金等調整前四半期純利益	1,395,115	1,091,086
法人税、住民税及び事業税	305,119	417,894
法人税等調整額	143,555	△13,497
法人税等合計	448,675	404,396
四半期純利益	946,440	686,690
親会社株主に帰属する四半期純利益	946,440	686,690

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	946,440	686,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,481	66,272
退職給付に係る調整額	2,443	2,958
その他の包括利益合計	58,924	69,230
四半期包括利益	1,005,365	755,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,005,365	755,921
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,157,066	969,811	1,527,176	6,654,054	—	6,654,054
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	12,015	—	12,015	△12,015	—
計	4,157,066	981,826	1,527,176	6,666,069	△12,015	6,654,054
セグメント利益	889,592	635,076	34,806	1,559,475	48,221	1,607,696

(注) 1. セグメント利益の調整額48,221千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「健康産業事業」において、溶岩石を用いた女性専用のホットヨガスタジオ「アミーダ」の撤退が決定している資産グループについて、将来の使用見込がなく廃棄することが決定されたものについては、減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第3四半期連結累計期間の減損損失の計上額は23,298千円であります。

全社資産である投資不動産に係る減損損失を12,199千円計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,709,872	995,264	986,831	5,691,968	—	5,691,968
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	10,210	—	10,210	△10,210	—
計	3,709,872	1,005,474	986,831	5,702,178	△10,210	5,691,968
セグメント利益 又は損失(△)	626,809	680,316	△58,540	1,248,585	45,223	1,293,809

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額45,223千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「健康産業事業」において、溶岩石を用いた女性専用のホットヨガスタジオ「アミーダ」の撤退が決定している資産グループについて、将来の使用見込がなく廃棄することが決定されたものについては、減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第3四半期連結累計期間の減損損失の計上額は113,051千円です。